

ニュース学童保育

=私たちの活動 4つの柱=
*制度化と指導員の身分保障
*専門性と仕事の確立
*父母と共に学童保育運動の発展
*全国の指導員との団結と連帯

今の政府に、命、暮らしを託せるか

収束しない コロナ禍

保育をしなければならず、現場の人たちには本当に敬意を表したいと思いません。

新1年生を迎えて、それぞれの学童保育所で新しい生活がスタートしました。

しかし、新型コロナウイルス、さらにはその変異株が広がり、東京、大阪、京都、兵庫に緊急事態宣言が発令される中で

さて、4月25日に投票のあった衆院北海道2区、参院広島選挙区、参院長野選挙区の国政選挙で自民党が全敗、野党共闘の統一候補が当選しました。
今の自民党政治への不信の現れでしょう。

現場を守るために休めなかった

愛知支部で、組合員による「学童保育におけるコロナ禍の実態に関するアンケート」を取り組み、その結果を「よあけの太陽 44号」に掲載しました。

「コロナ禍で感じた学童保育制度の改善点」では、以下のような記述回答がありました。

- 保育室を清潔に保てるよう人員が必要。
- 現場を守る指導員は休めなかった。
- 政府の対策が遅い。
- 児童の人数に合わせた保育室の広さ。
- 病児を隔離できる独立したスペース。
- 今まで空間的にも人的にも密に過ごしてきたことを実感。

感染拡大により、医療崩壊が起きているのはご存知の通りです。



この根底には、医療費抑制政策により、医師養成数の削減、患者・国民への医療費窓口負担、保険料の引き上げといった国民の命を軽視する政策があります。

昨年5月の各国PCR検査数は、イタリヤは日本の17倍、アメリカは9倍、韓国は6.4倍、フランスは5倍です。
熱があっても病院に行けない、病床があかずに自宅で亡くなるなど、痛ましい実態があります。

非正規女性に 大打撃

コロナ関連の失業者は10万人を超えました。

雇用者の増減には、年を通じて女性正規雇用者が増加した一方で、非正規雇用者、特に女性非正規雇用者が大量に減少しました。

非正規雇用者は898万人減少しており、そのうち594万人が女性です。



一貫して増加してきた

女性の非正規雇用者数が減少し、この減少は新型コロナウイルスの影響による雇用状況の悪化で、女性非正規雇用者が雇用調整に使われたからです。

ゆがんだ 社会にNO!

一晩で6万円の会食をご馳走してくれる政府官僚がいる一方で、明日の暮らしさえ見通せず、命を絶つ人がいます。

コロナ禍で経済不況と言われても、トヨタ自動車は、過去最高益2兆円を計上しています。
ソフトバンクの孫会長も「まだまだこれから」とさらに富を増やす、と豪語しています。

学童保育所に在籍する保護者の中には、「シフトが削られた」「失業した」「子どもは学童に行きたがっているけど、もう預けられない」と、悲しむ方もいました。

こうした富の集中や格差と貧困は、政府によって生み出されたものです。
今年秋までに必ず総選挙があります。命、暮らしを託せる政権を誕生させましょう。

(事務局長 田村一志)